

平成30年度 新潟大学・全学同窓会 交流会開催のご案内



日時

平成30年10月20日(土)

- ① 講演会 15:30~17:15 ※当日14:45から受付を開始します。
恐れ入りますが15:10までにご入場
② 懇親会 17:30~19:30 願います。

会場

ANAクラウンプラザホテル新潟 2階「芙蓉」

新潟市中央区万代5-11-20 TEL 025-245-3334

※会場の駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用願います。

主催

新潟大学／新潟大学全学同窓会



1

講演会

定員 200名

入場
無料

記念講演(15:30~16:40)

「南極における 地球科学研究の最前線」



● 講師
本吉 洋一氏
国立極地研究所 教授

越冬を含む数多くの南極観測に参加してきた本吉氏に、地球のタイムカプセル「南極」の最新の研究についてご講演いただきます。

ミニコンサート 16:45~17:15

新潟大学准教授 田中幸治氏によるピアノ演奏を予定



2

懇親会

定員 200名

先着順

17:30~19:30

会費／5,000円(学生／3,000円)

お申込み方法は、本紙ウラ面をお読みください。

「南極における地球科学研究の最前線」

講師・本吉 洋一氏 国立極地研究所 教授



写真：国立極地研究所提供

■プロフィール

1954年千葉県生まれ。1978年北海道大学理学部地質学鉱物学科卒業、1986年北海道大学理学研究科博士課程修了、1987年オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学研究員、1988年国立極地研究所助手、1994年助教授、2001年教授。これまでに合計11回、南極観測に参加（そのうち2回は越冬隊員）。第42次越冬隊（2000-01年）、第51次夏隊（2009-10年）、第58次夏隊（2016-17年）は観測隊長。

■講演の抄録

2017年1月29日、南極昭和基地は開設60周年を迎えた。南極観測は、戦後間もない時期にスタートした一大国家プロジェクトであった。当時、国力も経済力も決して十分ではなかった日本にとって、南極への船出は、戦後日本が国際社会へ復帰するとともに科学立国として生まれ変わる決意を国の内外に宣言した象徴的な出来事でもあった。この60年間、日本は南極域での科学調査を展開し、オゾンホールを発見など、地球環境にかかわる数多くの成果を挙げてきた。それらの中でも、今回は南極氷床、隕石、超大陸という三つの切り口で、地球のタイムカプセルとしての南極の姿を浮き彫りにする。

- 講演会は新潟大学同窓会関係者以外の方の入場も歓迎いたします。
- 参加申込書に必要な事項をご記入の上、下記宛へ郵送、FAXまたはEメールでお申込みください。
- 懇親会にお申込みいただいた方には会費振込用紙を郵送しますので事前振込をお願いいたします。

■お申込み／お問い合わせ先

新潟大学全学同窓会事務局

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

TEL 025-262-7891 FAX 025-262-7892

Eメール dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

申込締切日

平成30年

10月5日(金)

----- 参 加 申 込 書 -----

■希望される会を○で囲んでください。

- ① 講演会
- ② 懇親会（会費：5,000円／学生3,000円）

■あなたの所属を○で囲んでください。 （当てはまるものすべてに）

- 新潟大学卒業生
- 新潟大学学生
- 新潟大学教職員
- その他（ ）
- 一般の方
- 中高校生
- 協賛企業、団体

ご氏名

ご住所

〒

電話番号

FAX番号

■卒業学部・学科（新潟大学卒業生はご記入願います）

学部

学科（研究科、短期大学部）／ 昭和・平成

年卒（修了）

■協賛企業名（協賛企業様はご記入願います）

※記載された個人情報は、受付整理の他、新潟大学全学同窓会の次回からのイベント等の案内のみに利用し、それ以外には利用いたしません。